

Photo ふなばし

MOVE I

焼却灰再利用の実験工場が完成

自分のまちのゴミは自分のまちで

MOVE II

身体障害者福祉作業所・福祉ホーム
北部老人福祉センター

とくしゅう
PART 1

福祉と緑の
都市宣言 記念フエスティバル

みどりの日

開催



船橋県民の森で行われたウォーク・アンド・森林浴

とくしゅう
PART 2

市内で23館目

松が丘公民館オープン



松が丘公民館開館記念式典

- 市政トピックス
- 街角ホットニュース
- WE ARE IN FUNABASHI
- アトリエ訪問 ● サークル通信

まちなかの文化財／ふなばしの民話
ペットインタビュー

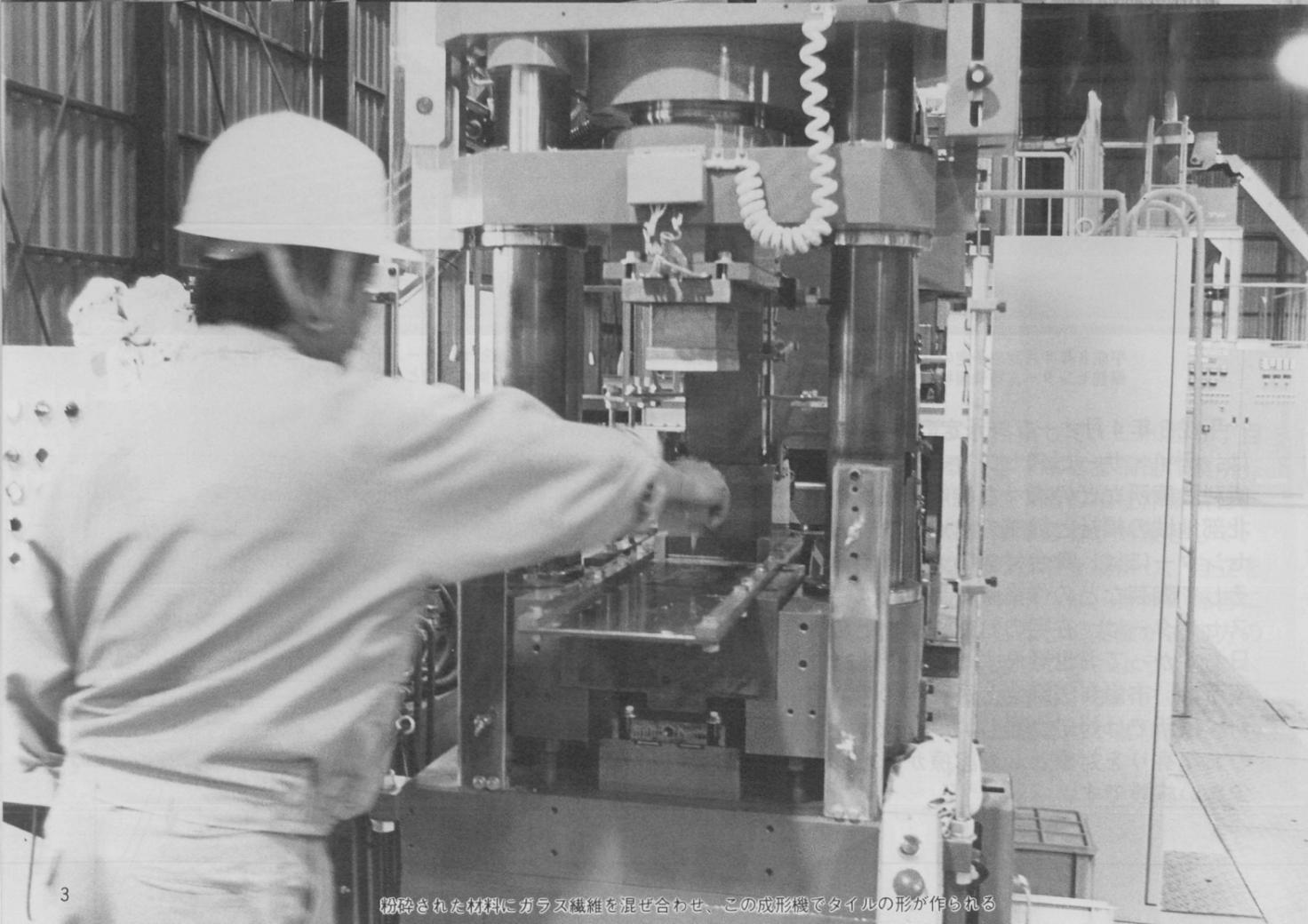
vol. 55

広報ふなばし写真版

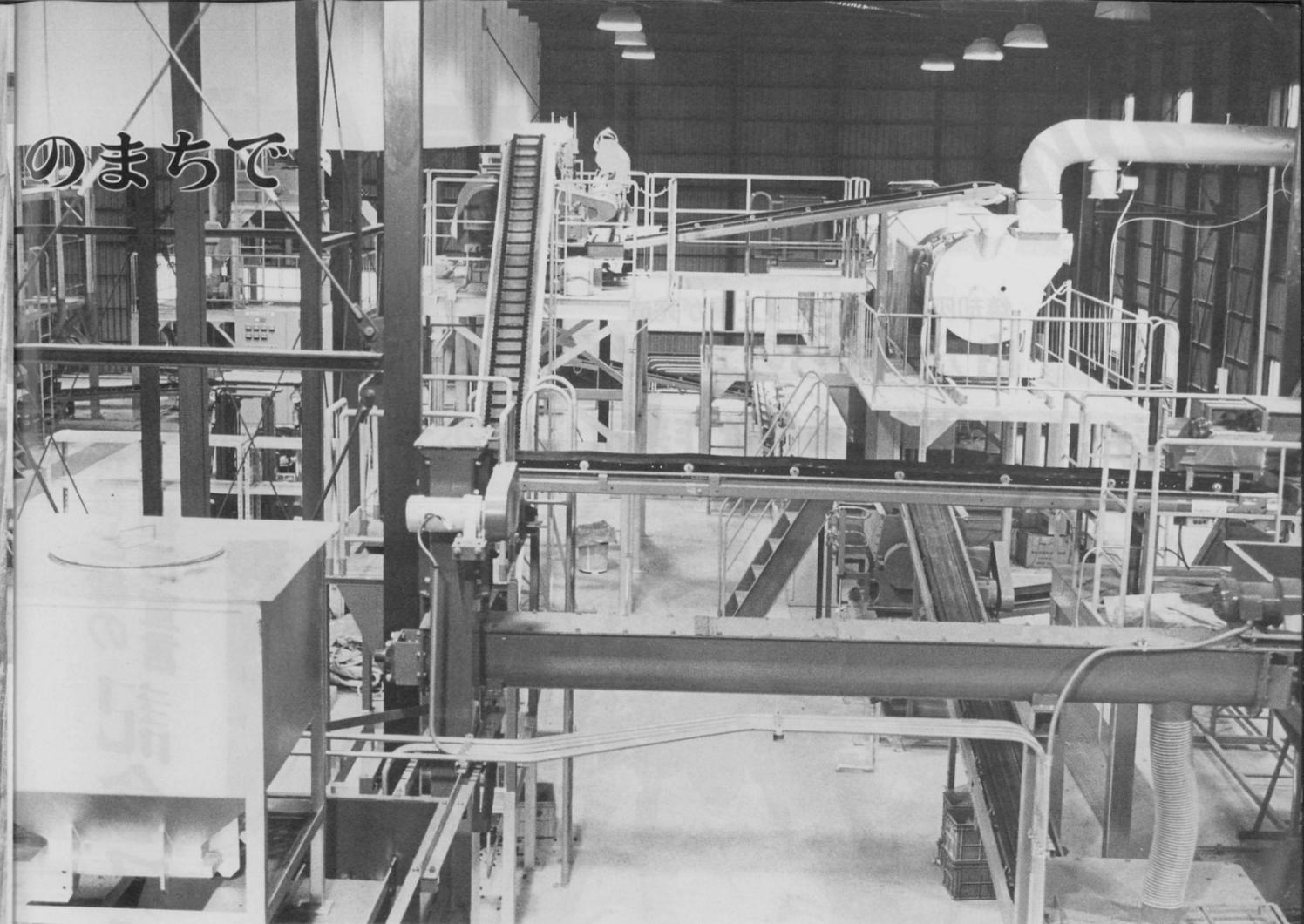
初めての試みに、全国が注目
MOVE I — 自分のまちのゴミは自分のまちで
 焼却灰再利用の実験工場が完成



成形し、このシャトルキルンの中で1000℃の高温で5時間焼くと透水性タイルが出来上がる



粉碎された材料にガラス繊維を混ぜ合わせ、この成形機でタイルの形が作られる



実験工場内部。粉碎工程、混合成形工程、焼成工程などを経て、清掃工場の焼却灰が透水性タイルなどの製品に変わる

福祉と緑の都市宣言の記念事業として、市が(株)荏原製作所、三井不動産建設(株)と共同で、南部清掃工場の敷地内に建設を進めていた焼却灰再利用実験工場が完成、全国初の試みがスタートしました。

家庭などから出た燃えるゴミは、清掃工場で焼却されて灰となりますが、それを処理する最終処分場を確保することが難しい状況になっています。この工場は、こうした焼却灰を再資源化して利用する、つまり、自分のまちのゴミを自分のまちで再利用するための実験工場。

焼却灰から作られるのは、水を通すタイルや路盤材など、公園や歩道に利用することで都市型水害の防止や緑の保全に効果を発揮します。一石三鳥ともいえる試みに日本全国が注目しています。



南部清掃工場に隣接する実験工場

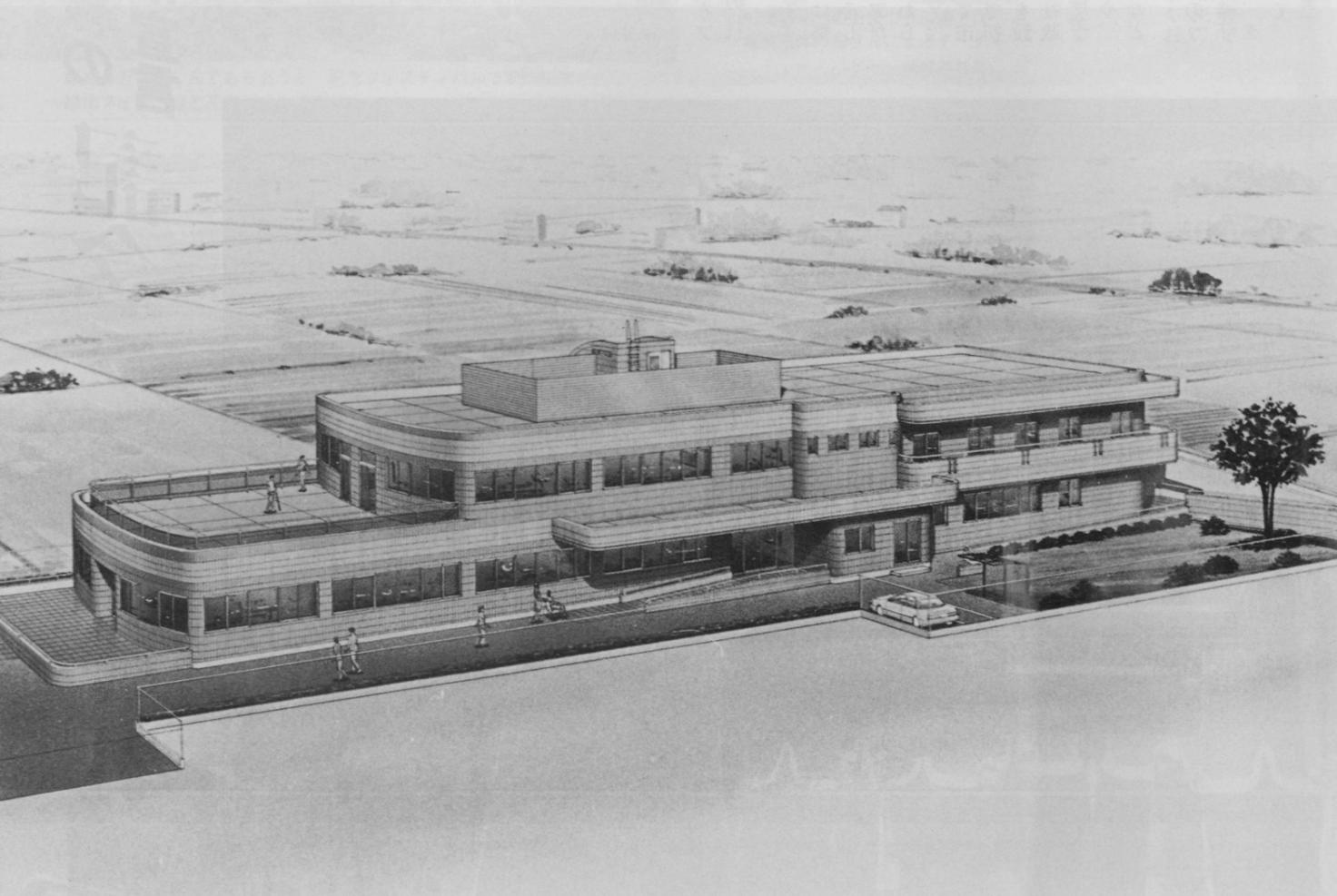


一次製品の人工骨材(右)と二次製品の透水性タイル

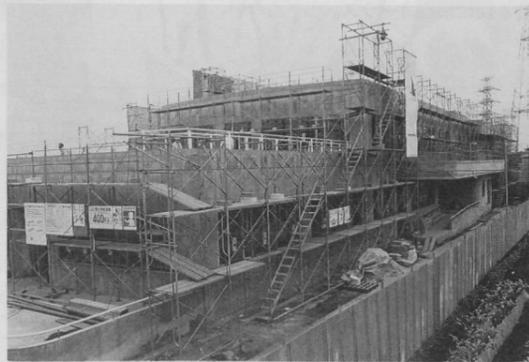
平成5年10月オープン予定

MOVE II — 身体障害者福祉作業所 福祉ホーム

(県内初)

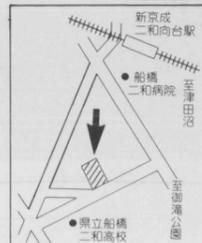


1階が福祉作業所、2階が県内初の福祉ホームとなっている



5か月後にオープン控え、工事も大詰め

平成5年10月オープンを目指して、二和西5丁目に建設が進められている「身体障害者福祉作業所」と「身体障害者福祉ホーム」。1階の福祉作業所は、雇用されることが難しい身体障害者を対象として、粘土細工や焼き板細工などの仕事を提供し、自立を援助する施設。2階の福祉ホームは、身体の障害によって家庭で日常生活を営むことに支障がある方のための住宅。車いすでも生活しやすいようなエレベーターやトイレが設置されるほか、リハビリ室も備えています。この福祉ホームは県内では初めての施設です。



北部地域の福祉・健康の拠点

北部老人福祉センター

平成6年4月オープン予定



平成6年4月完成予定の北部老人福祉センター等複合施設。この施設には、老人福祉センター、デイ・サービスセンター、保健センター、特殊歯科診療所などが併設されており、市北部地域の福祉と健康の拠点施設となる

平成6年4月オープン予定の北部老人福祉センターは、デイ・サービスセンターや保健センター、特殊歯科診療所などの様々な機能を備えた複合施設で、北部地域の福祉と健康の拠点となります。老人福祉センターには、舞台付きの大広間や娯楽室、入浴室、そして陶芸などの作業所があります。デイ・サービスセンターは、在宅のねたきりなどのお年寄りを1日あずかってお世話をする施設。また、特殊歯科診療所は、市歯科医師会と医師会の協力で、一般の歯科診療所では対応が難しい、心身障害者やねたきりのお年寄りを対象とした診療が行われる全国でも数少ない施設です。



着々と工事が進む北部老人福祉センター

福祉と緑の 都市宣言 記念フェスティバル みどりの日 開催



市民文化ホール「福祉フェスティバル」に訪れた皆さん

優しさと緑あふれるまちをつくるため、船橋市は、平成4年9月14日、「福祉と緑の都市」を宣言しました。

そして、この都市宣言を記念するフェスティバルが、4月29日みどりの日、市内各地で開催されました。

市民文化ホールでは福祉フェスティバル、船橋駅北口おまつり広場では都市宣言記念プレートの披露など、そして、天沼弁天池公園では緑化フェアが開催され、あいにくの雨にもかかわらず、大勢の皆さんが会場を訪れました。

これまでも市では、県内で初めて市立の老人大学を開校したり、全国で初めて在宅医療・介護支援センターを設置するなど、市独自の特徴ある福祉政策を進めてきました。また、緑の保全・育成のためにも、市民の森の開設や、「緑の基金」による緑地の買い取りなどを行っています。

現在、都市宣言の記念事業8つのうち、老人医療費助成対象年齢の引き下げ、福祉の街づくり委員会の設置、透水性タイル実験工場の建設、そして、福祉基金の設置をすでに行っています。

これからも、「福祉と緑の都市宣言」にしたがって、緑豊かな環境の中で、お年寄りや障害を持つ方々を大切に、子供たちが健やかに伸び伸びと成長できるまちづくりを進めるため、市民の皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いたします。



緑を身近に親しんでもらおうと、記念フェスティバルで同時開催された緑化フェア「緑と花のジャンボ市」(天沼弁天池公園)



船橋駅北口のおまつり広場では、福祉団体の皆さんによって「チャリティ・バザー」が行われた



熱演で観客を魅了した北総育成園演劇クラブの皆さんによる演劇「犬吠太郎」(市民文化ホール)



生き生きとした笑顔が印象的だった車いすダンスのデモンストレーション (市民文化ホール)



来場者にセイヨウイワナンテンが配られた (市民文化ホール)



若々しい歌声を披露した西老人福祉センター歌唱クラブの皆さんによるコーラス。客席の皆さんと一っしょに「月の砂漠」などの合唱を楽しんだ



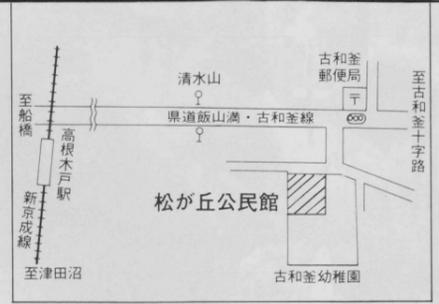
緑への関心も高まりつつあり、ウォーク・アンド・森林浴にも大勢の皆さんが詰め掛けました



船橋駅北口おまつり広場に設置された「福祉と緑の都市宣言」記念プレート



グリーンフェアも大にぎわい



市内で23館目 松が丘公民館オープン

とくしゅう
PART 2



心身の健康を目指す「あおば益気功（えきぎこう）」の皆さん（会員募集中。連絡先：宮田☎64-0803）



文化サークルの力作が勢ぞろいした開館記念展示



ステップリズム体操の皆さん（音楽室）



町会・自治会など地元関係者の皆さん大勢が列席されて行われた開館記念式典



講堂の舞台に車いすのまま上がれる車いす用可動式昇降機



大正琴のサークル「松が丘琴友会」。指や目をよく使うので脳の活性化に役立つそうです。会員募集中（第2集会室）



松が丘公民館の講堂で行われた利用説明会。大勢の皆さんが訪れ、公民館に対する期待の大きさがうかがえました



山門のたもとにそびえ立つ銀杏の古木

前任さんの時代だからもう一昔以上も昔になったが、当山を一、二度訪ねてお話を聞いたことがあった。その頃は台地の裾の水田べりにあって、山門のすぐ目の前の稲穂が風に揺れ、自然の小川の流れなども見ることができた。今日来てみると様相は一変している。しゃれたマイホームがびっしり建ち並び、歩いて仔細に見ると、何とかメン、何とかコーポやらと、集合住宅もたくさん出ている。そんな街の真ん中に正光山行傳寺（日蓮宗）がぽっかり建っている。

境内、広くはないがやはり別天地。山門のたもと両側の銀杏、樺の古木に加えて周囲の緑と、折から高木のアカシアが白い花束をびっしり抱えて、その芳香と群が飛ぶ蜂の羽音と、それから時折の犬の鳴き声まで親しく聴かれて、おそらくは付近住民にとり、憩いのオアシス”になっているのだ。

本堂前の題目石塔に目が往く。正中山百十四世日龜の書目と刻むが、龜に似せた花押がおもしろく、生前ユーモアを解した上人様と見た。その背後に「開山六百年記念碑」（平成四年十月）が建つ。また境内には「たんぼとけ」塚田公民館前に移した由、「中隊長殿通知書の一節」など、ちょっと珍しい石造物も見られる。

（文・大木勲）

新井の文化行

寺傳（前貝塚町）



三方を緑に囲まれた行傳寺

5月8日、松が丘公民館がオープンし、市内の公民館は23館となりました。総工費約6億4000万円、鉄筋コンクリート2階建てで、敷地面積は約1800平方メートル、延べ床面積は約1560平方メートル。静かな住宅街の中にあり、周辺の環境と調和させるため、外壁は薄茶色で落ち着いたデザインになっています。

館内は、255人収容の講堂、4つの集会室、つなげると36畳の大広間となる2つの和室のほか図書室や、ピアノがある音楽室、実習室があります。そして、市内の公民館では2番目という陶芸用電気窯も設置されました。

また、この公民館は高齢者や体の不自由な方でも安心して利用できるような工夫がなされています。講堂には、車いすを利用されている方も介護者の手を借りずに舞台上に上がる可動式昇降機が設置されています。実習室にも車いすのまま利用できる調理台が配置され、各階には身体障害者用のトイレが設置されています。このほか、エレベーターや入り口のスロープも設けられました。

公民館は、市民の皆さんの生涯学習の場、あるいは地域コミュニティの中心施設としての役割を果たしています。市では、市内23地区に25館の公民館の整備を進めています。残すところあと2館。公民館整備事業もいよいよ大詰めです。

薄茶色のタイルで飾られた落ち着いた外観





音楽に国境はありません。両校の息の合った演奏に大きな拍手が送られました



茶道を体験するモロー高校の皆さん

4月20日市民文化ホールで、市立船橋高校のブラスバンド部と、姉妹校アメリカ・ヘイワード市のモロー校ミュージックバンド部の皆さんによる合同演奏会が行われました。両校は平成元年11月に姉妹校となり、スポーツや交換留学など幅広い交流を続けています。演奏会は、生徒の進行により、市船の皆さんが「山形民謡によるバラード」など3曲を、モロー校のジャズやアンサンブルバンドの皆さんが「スラブ舞曲」など11曲を披露しました。フィナーレは、両校による「ニュルンベルクのマイスタージンガー序曲」、息もピッタリの演奏に場内から大きな拍手が送られました。

音楽を通じて国際交流
姉妹校合同演奏会

'93市民グランドゴルフ大会
ホール・イン・ワンも続出!



今大会屈指の難ホールとなったB面の8番ホール。ギャラリーも集まります

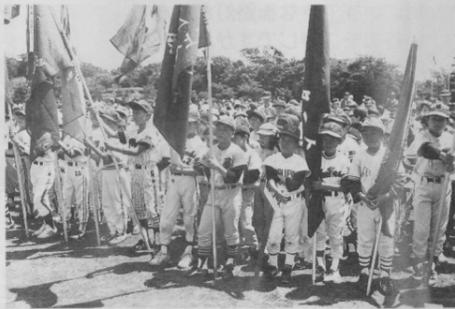
5月5日、中山競馬場内の子供広場で市民グランドゴルフ大会が行われました。さわやかな好天にも恵まれ、64チーム384人が参加、4ブロックに分かれての大会となりました。広々とした芝生広場のA面・B面にそれぞれ16ホールずつ設けられ、各ホールから一斉にスタート、ホールの傾斜を読んで、本物のゴルフさながらの真剣さ。それだけに、ホール・イン・ワンが出ると大きな歓声があがります。また、だれでも気軽に楽しめる軽スポーツ、表彰式では前原親交会の天野寛次さんが参加最高齢(92歳)の特別賞を受賞しました。

市内青少年団体11,000人大集合
第26回少年少女交歓大会

5月16日、運動公園で少年少女交歓大会が開催されました。これは、市内の少年少女団体が一堂に会して、交流を深めようと毎年行われているものです。当日は、少年野球連盟やボーイスカウト、子供会など12団体約11,000人の子供たちが集まりました。陸上競技場では体力測定コーナーや投球のスピード測定などが、自由広場では巨大迷路や長大トンネルなど各団体の趣向を凝らしたコーナーが設けられ、子供たちは色々な遊びにチャレンジ。また、恒例の模擬店には、焼きそばなど子供たちの大好物がいっぱい。五月晴れに恵まれた会場は、終始子供たちの元気な声がこだましていました。



100メートル走にチャレンジ



総勢11,000人が参加しました

第26回産業まつり
日程が決まりました

- ☆ミスふなばしコンテスト
7月18日(日) 13時から
市民文化ホール
- ☆めいど・いん・ふなばし
7月24日(土)~25日(日) 10時~18時
天沼弁天池公園

- ☆ジョイ&ショッピングフェア
7月24日(土) 11時~18時30分
本町・宮本通り
- ☆市民まつり(船橋会場)
7月25日(日) 11時~21時
本町・宮本通り等
- ☆私がおける花火大会 8月7日(土)
ふなばし海浜公園 19時30分~21時

「見直そう船橋の魅力」
船橋市まちづくりフォーラム開催

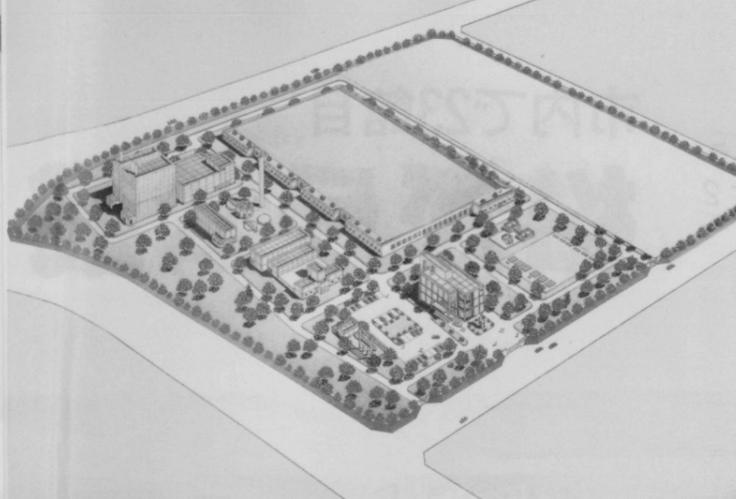
4月14日、「見直そう船橋の魅力」をテーマに「船橋市まちづくりフォーラム」が三田浜楽園で開催されました。より良い居住環境を創り出すために催されたこのフォーラム。スライドによる説明を交えた市民の皆さんのまちづくり活動報告が行われた後、日本都市総合研究所代表の加藤源氏やアナウンサーの大沢悠里氏など4人によるパネルディスカッションも行われ、それぞれの立場から熱心な討論が交わされました。



熱心な討論が交わされたパネルディスカッション



超満員となった会場の皆さんも真剣に耳を傾けていました



事業費270億円を投入して建設される高瀬下水処理場。処理区内約30万人分の下水を処理する



4月12日、関係者の見守りながら高瀬幹線管渠起工式が行われた

春季ゲートボール大会
300人が健康と技を競う



陸上競技場をいっぱいに使って熱戦が繰り広げられた

4月28日、平成5年度春季市民ゲートボール大会が、運動公園陸上競技場で行われました。市内に住むゲートボール愛好者48チームが参加。選手皆さんの日ごろの練習の成果を発揮して、みごとなスティックさばきと元気な笑顔を見せていました。

公共下水道整備事業
高瀬処理区で本格着工

市の公共下水道整備事業は、いよいよ市域中央部を対象とする高瀬処理区が本格着工となり、4月12日駿河台立坑基地で、高瀬幹線管渠起工式が行われました。高瀬処理区は、市内の下水道整備区域の約45% (3135ヘクタール)を占め、対象となる人口も30万2000人と市内5処理区でも最大の区域で、総事業費は約460億円。この区域の汚水は、高瀬町に新たに建設される高瀬下水処理場で処理されます。

今回は第一期事業として、平成10年度の利用開始を目指し、JR東船橋駅周辺や若松地区で工事が行われます。

下水道は、水辺の環境を守り、都市型水害を防止するなど、私たちの生活にとって欠くことのできない大切な役割を持っています。

市では、普及率を向上するため、積極的にこの事業に取り組んでいます。

余裕教室を市民図書室に
「ふれあい文庫」オープン

大穴小学校市民図書室開館式典



大穴小学校「ふれあい文庫」のテープカット

4月14日、小学校の余裕教室を利用した市民図書室「ふれあい文庫」が、高根小学校と大穴小学校でオープンしました。「ふれあい文庫」は地域の皆さんが、図書を通じた身近な学習の場として利用し、学校と地域社会のつながりを深める図書室です。開館日時は、毎週水・土・日曜日の午前10時から午後4時まで。幼児から大人まで幅広い皆さんが利用できる図書がそろっています。

また、高根小学校では「ふるさと資料室」もオープン。教職員や地域の皆さんの協力で集められた、昔の生活・農作業用具などが展示されています。



高根小学校の「ふるさと資料室」



高根小学校「ふれあい文庫」

書道のサークルがとても楽しいです。
磯貝富久子さん(右)(二和東5)
有吉奈穂子さん(左)(松が丘2)

茶道のサークルで、作法を大切にしながらお茶を楽しんでいます。
白井壽子さん(習志野台2)

みんなで和気あいあいとフラダンスを楽しんでいます。
鈴木康子さん(右)(高根台5)
中澤澤子さん(左)(飯山満3)

ダンスをゆっくりと練習しています。
宇田川太平治さん(右)(松が丘5)
中村利正さん(左)(大神保町)

気功をやっていますが、激しい動きはない体がすっきりします。
今井よね子さん(右)(西船2)
峯川花子さん(左)(北本町2)

テーマ
市民ひとことインタビュー
公民館の使い方は?



健康と生きがいのある生活を送ろう 第6回老人大祭を開催

5月23日、第6回老人大祭が宮本中学校で行われました。老人大学同窓会会員相互の親睦を図るこの大運動会。さわやかな五月晴れに約700人が参加、薬台台学園生と市場学園生とが紅白に分かれ、関所やふりゲームなど楽しい催しに汗を流しました。



鬼のいたずらを山神が追い払う「山神舞」(さんじんまい)

豊漁と海の安全を祈願して 水神祭

海の安全と漁業の繁栄を祈願する「水神祭」が、4月3日、船橋漁港で盛大に行われました。まず、漁協関係者や湊町地区代表の皆さんによる祈願が行われた後、神楽の奉納と餅まきが行われ、詰めかけた皆さんは、先を争って紅白のもちを取り合っていました。最後に沖合に船をだし、米や麦などを海にまく「種まき」が行われ、五穀豊穡を祈っていました。



宮本地区有価物連絡会の皆さん

資源を大切に 有価物回収一本化へ

船橋市の有価物回収は、各学校のPTAの皆さんや子供会など、それぞれの団体が毎月1〜2回行われていました。しかし、宮本地区と大穴中学校区では、各団体と町会・自治会が話し合い、地区ごとに合同で回収することになりました。この結果いつも利用しているゴミステーションに有価物が出せるようになり、回収も週1回行われるため、回収量は以前の2倍に増えました。船橋のリサイクル活動が皆さんの力でまた一歩前進しました。



作業開始前の打合せをする大穴中学校区有価物連絡会の皆さん



白黒、カラー、組み写真と個性豊かな作品が
出展され、見ごたえのある写真展となりました

船橋市写真連盟創立10周年記念 女性会員だけの写真展

5月18日から23日まで市民ギャラリー一で、市写真連盟の女性会員展が開かれました。これは、市写真連盟(会員数130人)が昭和58年に結成されて、今年で10周年を迎えたことを記念して行われたものです。最近では、女性会員も多くなり、23歳から72歳までの女性会員21人の皆さんが写した、家庭や旅行先の風景、市内の芸術家などの力作58点が展示されました。

「美しく 歩きやすく 親しみやすい」 前原商店街づくり計画



ソフトな光で演出された前原商店街

JR津田沼駅北口の前原商店街に、すてきな街路灯が並んでいるのをご存じですか。いま前原商店会(小林清四郎会長)は「美しく 歩きやすく 親しみやすい商店街づくり」を実現しようと計画しており、この街路灯もその一つ。ロンドンの建築デザイナーが設計したもので、扇型の反射板によってソフトな光が訪れた人々を照らしています。また、モニュメント「動きのある風の塔」や、空間を演出するためのストリートファニーチャーの設置も計画されています。



祝賀会で功労表彰を受けた皆さん

創立45周年 船橋市卓球協会祝賀会

4月17日、船橋市卓球協会の創立45周年と婦人部の創立20周年を記念した祝賀会が開催され、たくさんの卓球愛好家の皆さんがお祝いに駆け付けました。また永年にわたって協会に貢献された皆さんに、感謝状が贈られました。

街まちかど角 ホットニュース

皆さんからの情報をお待ちしています。
▷広報課 ☎36 2015

テレビふなばし1周年 ありがとうまつり

4月11日、船橋駅北口おまつり広場で、テレビふなばし1周年ありがとうまつりが行われました。テレビふなばしは、昨年4月に開局したケーブルテレビで、今まで取材したサークルの皆さんを招いての発表会やばか面おどりなどが披露されました。テレビふなばしのサービスエリアや加入方法についてのお問い合わせは ☎25-0100まで



おまつり広場でジャズ・ダンスを披露する「アフター・ビート」の皆さん



2度目の優勝を果たした前貝塚市トビーピア自治会の皆さん

レシーブ・トス・アタック 第22回ママさんバレーボール大会

4月25日、旭硝子杯町会対抗ママさんバレーボール大会が、日本建鉄体育館で行われました。スポーツを通じて地域振興を図ろうと昭和47年から始められたこの催し、今年は13チームが参加。9人制2セット先取のトーナメントで行われ、前貝塚トビーピア自治会の皆さんが2年ぶり2度目の優勝を果たしました。



画家であり歌人でもある小嶋さんは、一昨年には歌集「群青」を出版している

洋画家 小嶋和夫さん (二宮2)

アトリエ訪問

市民展や美術連盟の会員展などでも楽しみにしているものの中に、小嶋さんの絵がある。武者の風情やかざ車、民芸品の玩具などが、青みを帯びた見事なグラデーションの中に、幾重にも重なるように超細密に描かれた絵で、すでにファンの方もいると思う。写実でありながら、写実を超えて、いつしかはるか記憶の幻想の世界へと引き込まれてしまふような独特な存在感。その小嶋さんの絵がどのようにして生まれてくるのか、今回はその制作現場を訪ねることができた。



こつこつと丹念に描く。1枚仕上げるのに4〜5か月かかるという

小嶋さんの絵との出会いは、旧制中学の2年生のとき。故・森 桂一先生(後の千葉大学名誉教授)から油絵の手ほどきを受けてからは、暇さえあれば描き続けたそうだった。しかし、不運にも戦争が始まって、絵を描く時間と材料が手に入らなくなると、絵をあきらめなくてはならなかった。昭和22年に就職してから、機関誌への投稿や歌会に熱心だった。しかし、昭和41年に柏市に転勤して間もなく、小嶋さんの人生を大きく変える出会いがあった。短歌会の帰りに見た一枚のポスターを切っ掛けに訪れた画廊喫茶、そこで、今まで忘れられなかった油絵具の匂いと早川義孝先生(新柳樹社名誉会長)に出会ったのである。素晴らしい指導者を得た小嶋さんは、「乾き切った砂漠に驟雨が染み込んでゆくように...」絵を描くことに没頭した。

小嶋さんの画壇での輝かしい受賞歴、活躍は数知れぬ程である。個展や海外取材、海外展での活躍も多い。しかし、「私の絵は素人芸」と宣言し、度々人を慌てさせる。その言葉には、頑固なまでに純粋に、美の心を追及してきた者だけが到達しうる境地が感じられる。「ある個展の会場で、この人の絵には一つもごまかしが無いと言ってくれた人がいました。」奥さんの富子さんのひとこと、小嶋さんの生き方の全てを物語っていると思つた。

ふなばしの民話

七経塚異聞

文・村上昭三



葦溜に向かって立っている七経塚

むかし、むかし、古作村の折渡(おりと)の弁天様の大きな大きな大蛇が棲んでいました。その頃、近くの中山村のお寺に日蓮様が来て、説法をしていました。そこには大勢の人々が集まり、熱心に聞いていました。その聴衆の中に、一人の絶世の美人が毎日のようにやって来て、説法に耳を傾けていました。この美人は、実は日蓮様の説法を盗むために来ていた葦溜の大蛇の化身でした。それは知らないお寺の小坊主がこの女人を見染め、夢中になって言い寄りしました。そして、女人の袖を強引に握り締め、「今度、休みの時に、一緒に遊びに行こう」とか、また続けて「お前の住いは何処か。」

は出来ません。もう、お声をかけないで下さいませ」と言った途端に、念力が解けて大蛇の姿に戻りました。これを目の前で見た小坊主は、びびりして「きゃっ、お前は大蛇のお化けだったのか。だれか助けてくれ」と叫び、失神してその場に倒れました。大蛇の姿に戻った女人は、自分の見にくい姿が急に恥かしくなり、葦溜に帰ることをあきらめました。そして、そこから折り返し、千足の妙正寺に逃れ、その境内の池に身を沈め、それっきり姿を隠してしまいました。この折り返しをした付近には、七枝の鱗(うろこ)が点々と落ちていました。これが元でそこに塚を築き、後年さらに石塔を建てたのが、今に残る七経塚のいわれだということです。



両親に会せてくれ」と言って、暗に結婚を迫りました。その揚げ句に、小坊主は嫌が女人を追いかけ、若宮の村内で古作村の村境に近くなって、もつれ合いながらやって来ました。余りのしつこさに女人は、ついに堪りかね、強い調子で「私には、事情があって貴方とお付き合いすること



ART
洋画

市展に初めて出品して入賞したことが、絵を続ける力になっています

山本ミチルさん
(東船橋5)

「小さいころから絵が好きで、学生の時もデッサンを描いていました。ポナールの絵が好きなんです。」という山本さん。17年前、お嬢さんが絵を習い始めたのがきっかけで、本格的に絵を描き始めたそうです。「昭和55年の市展に初めて出品して入賞したことが、今でも描き続けていられた大きな力になっています。」

山本さんの作品は、赤色を基調とした婦人像。パリ高など褐色の肌をした南の国の女性が、いかにも女性らしい柔らかなで表現されています。絵を描く時間は、主に午前中。でも、展覧会が近づくと一日中絵に没頭してしまうそうです。「子育てでも終わって、今は描く時間がいっぱいあります。」

今まで具象的な絵を描いていましたが、今後は、色使いも含めてやや抽象的に、表現してみたいと意欲を見せてくれました。



矢作淳 子さん
(海神3)

顔が沈んで見えないようにおとなしい色を選びます

サーモンピンクのスカート、ベージュのローヒール、そして小さな白い花模様のイヤリングとフレッシユな装いを見せてくれた矢作さんは、今来賓の勉強に励む学生さん。「顔が沈んで見えないように、おとなしい色の洋服を選びます。イヤリングはかわいいうものが好きです。」大学にはGパンと紺ブレで、買物はVやシャポが多いとか。趣味はチースケーキが自慢のお菓子作りと、絵を見たり描いたりすること。「今度着付けを習います。」という矢作さんはとても日本的でしつやかなお嬢さん。卒業旅行は海外へ行きたいと、休日にはパン屋さんでアルバイトをして頑張っています。



みんなで描くととても楽しいです



思い思いに筆を走らせています



手ぬぐいを使った動作が特徴です

法典アートクラブ
法典公民館

発足以来10年以上の歴史があるこのクラブ、現在13人の会員の方が月3回火曜日に集まり思い思いに描いています。画材は水彩・油彩どちらでも良いそうです。主に静物を題材に描いています。「みんなで顔を合わせて描けることがいいですね」と会員の方。公民館の文化祭や年1回他のサークルと合同で開く展覧会を目標に皆さんがんばっています。「基本がしっかりできて自分の絵を描けるようになれば…」と熊谷先生。初めての方も大歓迎です。一緒に楽しくやりましょう。
(連絡先：松林美矢 ☎38-4475)

サークル
通信

みんなの広場



花が変色しないように気を遣います



エアロビクスを始めてとても体調が良くなりました



花の採集旅行に出かけたかったです

あい・らぶ・ふなばし



皆さんともフレンドリーで、このまちが気に入ってます。

ロビン・タブマンさん
(海神6)

「バスや電車等交通機関がとも発達。また皆さんともフレンドリーで、このまちがとも気に入っています。」

こう船橋の印象を語るロビンさん。3年前に、ニュージーランドを留学中の奥様と知り合い、以来5度目の来日です。とても日本文化に興味をお持ちで、お茶や生け花などについて、奥様からレクチャーを受けているとか。これから、しばらく日本で暮らしたい毎日を送っています。

ご主人
カフェ&ギャルリ
ソルシエール

三山7-12-8
☎0627



主宰者の安藤さん(中央)と手塚さん(左)

シルエットのソルシエール(魔女がいたずらっぽく遊ぶガラス窓。その横の白い扉を開けると、まず、右手にアンティーク調のショーケースが目に入ります。中には、イヤリングや指輪などの彫金が静かに収められていました。店内では、磨きこまれたブラウンのテーブルや椅子が、ぬれたように輝いています。ひきたてのコーヒーとカボチャのパイ、そして、静かなBGMが訪れた人にやすらぎを与えてくれます。壁に目を転じると、個性的な絵画が何枚も掛けられていました。

主宰者の安藤さんと手塚さんは、「絵を見るのが二人とも大好きなんです。だから、美術館へ足を運ばなくても良質な芸術作品と気軽に出会える、そんな空間を作りたくて、この店を始めました。いつも、オリジナルティーに富んだ作品をお見せできるように心がけています。」と、芸術への思いを語ってくれました。6月は、手びねり陶器とスケッチの展示だそうです。

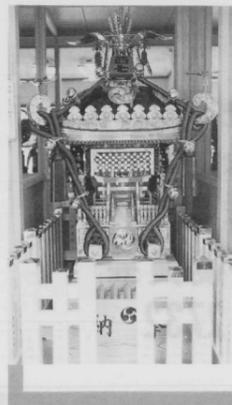
葛飾公民館
シルバーエアロビクス
三咲押し花同好会

公民館の開館をきっかけに2年前に発足したこのクラブ、毎月第1・2・3水曜日に集まっている汗を流しています。現在会員は約30人。前半は心地良いBGMを聞きながら、指先から体全体をじっくり30~40分かけてほぐします。後半は軽快なリズムに乗って、だれでもすぐに覚えられるステップのエアロビクスに移ります。前・後半共に手ぬぐいを使った動作を取り入れているのが特徴です。「だれにでも手軽にできて、決して無理しないので、とてもいいですね」と皆さん。お年寄りの皆さんも若い方も年齢に関係なくできる運動です。ぜひ一度あなたも体験してみませんか。
(連絡先：野崎ひで ☎0473-34-1926)

三咲公民館
三咲押し花同好会

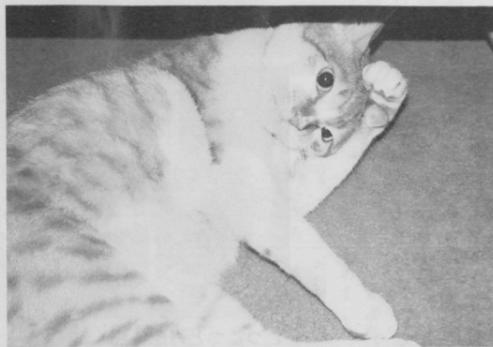
公民館の開館をきっかけに興味のある方が集まり発足したこの同好会、毎月第2木曜日に押し花作りに励んでいます。主に小さなカードや額、アクセサリー、タイルなどを作っています。押し花は近所の野原や庭に咲いているものを摘んで、吸水性のシートにはさんで作りためておきます。それを和花や洋花などによってレイアウトを決めて台紙に貼ります。「よほど大きな作品でなければ1回で仕上がるので手軽に楽しめるし、旅行先で摘んだ花を押し花にすると、とても良い思い出になります。」公民館の文化祭や近くの銀行で展示会を開いたりします。あなたも一緒にいかが。
(連絡先：石橋福子 ☎57-0773)

あとながき



湊町第7自治会
女男神輿完成

船橋の伝統芸能「ばか面踊り」が盛んな湊町第7自治会で、「縁結び・女男(めおと)神輿」が完成し、4月21日、お披露目が行われました。自治会長の岩田さんは、「名前のお通り、男女で仲良く担ぐ神輿にしたいですね。」と完成の喜びを語っていました。晴れ舞台は、7月25日の市民まつりだそうです。



いつもご主人の帰りを玄関で待っています

僕の名前はバク。2年半ほど前、捨てられている所をご主人に拾ってもらったんだ。以来、ミルク、そして離乳食と、人間の赤ちゃんと同じように大切に育ててもらいました。好物は、夢って誤ではなくて、チーズ、それからバターを付けたパン、ケーキのクリームなんかもう最高だね。でも一つ悩みがあるんだ。僕車が全然ダメなんだ。だからみんなが旅行する時は、決まってペットホテル。みんなから見ればぜいたくかもしれないけど、出されたごちそうはのどを通らないし、ご主人も旅先で僕のこと結構心配みたいだし、今年の夏休みは、僕も一緒に車で旅行に出掛けたいんだ。だれか車酔いしないよい方法があったらぜひ教えてください。お願いします。

ペット
インタビュー

なまえ

バク

(ねこ)

オーナー

磯崎節子さん
(西習志野3)



5月20日から26日まで武道センターで重陽気功の講習会が開催されました。船橋市と友好交流を続けている中国の古都西安市から、気功師の先生を招いて行われる講習会は今年で5年目を迎え、延べ1000人を超える市民の皆さんが受講しています。今回も解山岭先生(右から二人目)の指導を受けながら、受講生の皆さんはさわやかな笑顔で心地良い汗を流していました。



5月29日、第1回ふなばし女性囲碁の会が、茶華道センターで開催されました。山下功先生の囲碁講座や参加者全員による連碁、山下千文先生らによる指導碁などが行われ、会場は約80人の女性囲碁ファンの活気に包まれていました。

6月20日(日)は 船橋市長選挙 です。

市長選挙は、私たちの生活に最も密接した市政の担い手を選ぶ、大切な選挙です。

必ず投票しましょう。

問 選挙管理委員会
☎36-2732



ナイチンゲール生誕の日当たる5月12日、市立看護専門学校で戴帽式が行われました。学科を中心に学ぶ1年生から、臨床実習を行う2年生になるときに行われる戴帽式。キャンドルのともしびの中で、一人ひとりナースキャップを受けた学生の皆さんは、「人々の幸のために身をささげん」と誓いのことばを唱和しました。